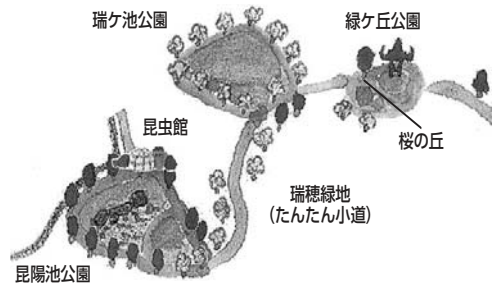


昆陽池・瑞ヶ池・緑ヶ丘公園など 桜の名所を紹介



昆陽池、瑞ヶ池、緑ヶ丘公園とこれらをつなぐ瑞穂緑地(たんだん小道)。右(下)は、例年4月上旬から約1千300本の桜が咲くお薦めの散策路です。



市内の桜の名所

緑ヶ丘公園「桜の丘」

市内で最も古い公園「緑ヶ丘公園」を新たな桜の名所とするため、日米友好の証とされる米園ワシントン・ポトマック湖畔の桜並木の基となった伊丹の桜など約30種類100本のさまざまな桜が鑑賞できる「桜の丘」を整備しました。

また、桜の育成を促し美しい「桜の丘」を維持していくため、「緑ヶ丘公園桜の丘見守り隊」を結成し、活動も行っています。

陽の光

市内の桜の多くは、「ソメイヨシノ」ですが、「ヨウコウ(陽光)」という珍しい品種の桜もあります。

ヨウコウはソメイヨシノに比べ、早咲き(一般的には3月中旬)である▽花は一重の大輪で、ピンク色の花びらが鮮やかなことが特徴です。

ヨウコウはアイ愛センター前(上写真)や笹原公園、昆陽南公園などに植えられています。園市みどり自然課 ☎780・3521。

瑞穂緑地の桜並木

瑞穂緑地(たんだん小道)には、昆陽池公園から東へ約350mにわたってサトザクラの並木があり、「松月」「普賢象」「大村桜」などさまざまな品種が植えられています。

昨年、新たに約40本植樹したことにより、現在約30種80本の桜並木となっています。今後も、管理・育成を行い、皆さんに花見を楽しんでもらえる名所となることを期待されています。

鬼貫賞

俳句を募集

柿衛文庫は、伊丹を代表する俳人、上島鬼貫を顕彰する「鬼貫賞」の俳句を次の通り募集します。

▽募集作品 雑詠2句1組。未発表作品▽投句料11千円(定額小為替(無記名)可。切手不可)。

投句者全員に句集を配布。

▽投句用紙(同文庫ホームページからダウンロード可)か縦書き400字詰め原稿用紙(左ページに作品、右ページに住所)。



鬼貫の肖像

氏名・俳号・年齢・電話番号を楷書で、氏名や俳号・作品にはふりがなを書いて)を4月30日(消印有効)までに郵送で〒664・8503千僧111伊丹市防災センター1階柿衛文庫へ。
◎おにら顕彰俳句大会と表彰式を開催 8月7日(土)午後2時、東リ、いたみホールで当日投句による俳句大会を開催します。

定員100人。参加料500円。同大会後、鬼貫賞・入選句の発表・表彰・選評あり。
▽柿衛文庫へ。先着順。
◆柿衛文庫「伊丹一句の日」を開催 3月19、21日、形式にこだわらない自由な俳句を募集します。

俳句を詠んだことがない人も気軽に投句を。同文庫ホームページから投句もできます。無料(特選・入選者は賞品あり)。
* 同柿衛文庫 ☎782・0244。

みんな集まれ!

そだちのひろば

育児相談や学習会、親子交流などを通して子育ての仲間をつくり、子育ての不安を解消する連続講座「そだちのひろば」を次の通り実施します。

「ひよこ」0歳児のひろば
「うさぎ」1・2歳児のひろば
「ひよこ」▽時間11時10分~11時20分▽対象1第1子のみ。
「うさぎ」1・2歳児のひろば
▽時間11時10分~11時45分▽11時15分▽対象1保護者が初参加の人が優先。「ひよこ」経験者参加可。

いずれも無料。市内在住の人のみ。詳しくは市ホームページ(下二次元コード)から読み取り可。確認を。
▽子育て支援センターへ。応募多数の場合は抽選。

③ みんなのひろば「地域」11表
3 子育て支援センター職員が地域の施設や共同利用施設に出向き、親子が気軽に集い遊べる出合いの場を設けます。

表1 そだちのひろば「ひよこ」

グループ	会場	対象	定員	申込期間
1期	北センター	2020年4月2日~7月31日生まれ	各12組	3月22~26日
	図書館「ことば蔵」			
2期	北センター	2020年8月1日~11月30日生まれ	各12組	7月26~30日
	図書館「ことば蔵」			
3期	北センター	2020年12月1日~2021年4月1日生まれ	各12組	10月25~29日
	図書館「ことば蔵」			

表2 そだちのひろば「うさぎ」

グループ	会場	対象	定員	申込期間
1期	子育て支援センター内「むくむく」	2018年4月2日~2019年4月1日生まれ	各15組	3月15~22日
		2019年4月2日~2020年4月1日生まれ		6月21~26日
3期	子育て支援センター内「むくむく」	2019年4月2日~2020年4月1日生まれ	各15組	9月13~18日
		2020年4月2日~2021年4月1日生まれ		12月6~11日

表3 みんなのひろば「地域」

会場	曜日	対象
中野西センター	木	0歳、1歳~就学前
北センター	金	0歳、1歳~就学前
大鹿交流センター	金	0歳、1~3歳
ラストホール	月木	0歳、1歳~就学前

大阪国際空港写真展 巡回展示



3月20日~4月4日の午前9時~午後8時、伊丹スカイパーク内パークセンターで、「大阪国際空港写真展巡回展示」を開催します。内容は、「わがまち再発見」をテーマに空港周辺市を撮影した選出60作品を展示。無料。
市空港政策課 ☎784-8057

伊丹の広場



微としてきました。そのことを象徴する彫刻が入口に続く大階段の前に設置されています。兵庫県生まれの彫刻家・西野康造(1951年)さんが「未来に馳せる夢をのせて自由に大空へ羽ばたく翼」を表現した作品《風に乘った翼》です。

支柱の先端にチタン合金でつくられた2枚の羽がついたシンブルなものが、私たちが分らないほどの小さな気流を捉え、台風のような強い風でも滑らかに舞う動きは、まさに鳥の飛翔そのもの。驚くことに、電力ではなく風力のみで動いているのです。太陽の光を受けてキラキラと輝きながら空や風に溶け込む姿は繊細で美しく、見飽きることはありません。

西野さんは長年、ステンレスや鉄などの金属を使って空気や風などの自然の移ろいを表現し、全国の美術館や公共施設に作品を設置してきました。その活動が高く評価され、スワンホールに設置した年には、日本彫刻界において最も名譽ある賞といわれる「中原悌二郎賞」の優秀賞を受賞しました。さらに2013年には、アメリカ同時多発テロ事件で崩壊した世界貿易センタービルの跡地に建てられた高層ビルのエントランスロビーに、直径30mの弧を描く壮大な作品《スカイメモリー》を設置し、話題となりました。

今や世界的に活躍する彫刻家となった西野さんが20年前に手がけた《風に乘った翼》。長い年月を超えても、変わらず静かに羽ばたき続けています。スワンホールを訪れる際は、ぜひ見上げてみてください。

同美術館 ☎772・7447。



西野康造《風に乘った翼》2001年

2001年の開館当時から省エネルギーシステムを取り入れ、環境に優しい施設を特